

こんにちは 日本共産党県議団です



5月11日(議会初日)県議会中庭にて
(左から) ふじおか、高村、びぜん、山口、もうり、小林、和田、両角議員

抜群のメンバーで県民要求の実現へ

日本共産党県議団は、このたび新しく山口議員が誕生し、もうり議員、びぜん議員のベテラン議員も復活、史上最高の8人の県議団として出発しました。県民の皆さんのご期待にどれだけ応えられるかが、いま問われているものと受けとめています。

現在、戦争法案をはじめとした安倍政権の暴走にストップをかける大変大事な局面であり、また地方再生という大きな課題があります。本当の地方再生は、わが党が頑張る以外にあり得ないという思いで、議会に臨みます。

抜群のメンバーで、代表質問権、議案提案権もフル活用し、思う存分頑張る県議団にしていきます。どうかよろしく願います。

県議団長 小林 伸陽

空から騒音まき散らし
危険を持ち込む

信州の空に米軍機はいらない

米軍機低空飛行問題で 長野県、防衛省、外務省に申し入れ

5月19日、佐久地域や飯山地域を中心とした米軍戦闘機の低空飛行訓練について、国と県に対して申し入れを行いました。県では危機管理部長が対応。県は、「市町村から『日常生活に支障がない』と聞いている」ので、現時点で機体の照会以上の対応はないと回答しました。

県議団は、多数寄せられた目撃情報や、小学校で子どもらが驚いたり、赤ちゃんが泣き叫ぶ事態が生ずるなどの騒音被害の実態を指摘。県の対応については、群馬県では騒音を測定し米軍に対応するよう防衛省に要請していること、長野県でも1988年の伊那谷での米軍機訓練の際には中止要請や現地調査を行ったことを示し、主体的な情報収集、騒音調査、国や米軍への要請などの対応を求めました。



防衛省・外務省への申し入れ (5月19日・衆院第二議員会館にて)

国は飛行計画を把握している

国に対する申し入れには藤野保史衆院議員、井上哲士参院議員も同行、防衛省と外務省の担当者に対応。日本政府としてアメリカ政府・軍に飛行訓練の中止を要請するよう求めました。国は、住民から問い合わせがあれば米軍機か否かを照会するだけで、訓練中止などを求めることはできないと主体性のない回答でした。

質疑の中で、実際は米軍機のフライトプラン（飛行計画）についてはその都度自衛隊を通じて国土交通省に届けることになっていることが判明しました。

県議団は、未だ確認のとれていない飛行物体について国の責任で特定すること、国民からの苦情や申し入れを米軍に伝えた際にはその内容を公開するよう求めました。

なお同日、県議団は対策本部の設置を決定しました。

(申し入れの詳細は県議団ホームページに掲載しました)

6月定例県議会は6月25日より始まります。
県議団各議員の質問の傍聴にぜひお越しください。

戦争立法許さない

県議団は、5月14日夕、長野駅前にて戦争立法の閣議決定に抗議する緊急宣伝行動をおこないました。8人勢ぞろいした議員がそれぞれマイクで訴え。

通りがかった高校生が「戦争だけはいきたくない」と署名に応じたり、ビラを見て「これ(戦争する国づくり)だけはいけない」などと反応が返り、激励も寄せられました。



ご意見・ご要望をお寄せください。

日本共産党県議会報告

No. 1

2015年6月

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/> E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp

史上最高8人の県議団が 期待に応えるため全力!

県議団プロジェクトチーム始動

県議団は、県民要求実現へと、さっそく政策提言・実現のためのプロジェクトチームを立ち上げました。

■選挙制度改革研究プロジェクト■

1、2人区を中心に、無投票や有権者の声が反映されにくい選挙区が生じています。有権者の声をきちんと反映できる選挙制度実現のため、研究・提案をします。

■リニア中央新幹線問題プロジェクト■

県民の暮らしや環境に大きな影響を与えるリニア新幹線。県民の立場から対案を示します。

■医療・介護問題プロジェクト■

介護保険改定で、特別養護老人ホーム・宅老所の運営が厳しくなるなど大きな問題が生じています。関係する皆さんのお話も伺い、県などに対して改善を求めています。



地域の病院から
お医者さんがいなくなる?!

県民医連との懇談で、医療・介護制度改革の問題点を議論。2017年から「新専門医制度」が実施されると、専門医研修が可能な一部の大病院を除き、医師が集まらなくなる可能性が大きいことがわかりました。これでは地域の病院が成り立たず、医療難民を生じかねません。

現行の計画は見直しが必要であり、県へもしっかりと地域医療を守るよう求めていきます。



5月臨時議会 特 集

力を合わせて奮闘します!

各議員の所属委員会が次の通り決まりました。

団長
小林伸陽
(上伊那郡)

総務企画警察委員会

農林業・商店街など地方の産業をつぶし、介護・医療大幅削減で暮らし破壊、いよいよ戦時立法で平和も壊す暴走政治。暮らしを守る県政に全力で頑張ります。

副団長
高村京子
(上田市・小県郡)

危機管理建設委員会

国と県による国土強靱化やリニア推進が、環境や生活破壊につながるのか、安心・安全の暮らしと地域を守るために力を尽くして頑張ります。

副団長
和田あき子
(長野市)

文教企業委員会
議会運営委員会

今年度は文教企業委員と議会運営委員です。こどもの貧困が社会的にもいわれています。給付型の奨学金の拡充をめざして頑張ります。

幹事長
もつり栄子
(岡谷市・下諏訪町)

環境産業観光委員会
決算特別委員会 (内定)

経済、産業、環境と幅広く担当します。県民の皆さんの不安、期待にこたえ、調査など旺盛に行ない、積極的な提案をして、地域の振興めざしががんばります。

びぜん光正
(塩尻市)

文教企業委員会
(委員長)

8名に前進させて頂いた力で今回文教企業委員長に選ばれました。子どもの健やかな発達のための教育環境充実、環境活かした電気水道事業発展に頑張ります。

両角友成
(松本市)

農政林務委員会
(副委員長)

平和・暮らしがおびやかされる時代のただ中、2期目の議員活動に入ります。県民の皆さんに寄り添い、特に平和を守るため、力を尽くします。

ふじおか義英
(佐久市・北佐久郡)

農政林務委員会

2期目も引き続きがんばることとなりました。みなさんにお約束した『暮らし・雇用・農業に全力』、また戦争法案ストップの立場で、県政を軸足に奮闘します。

ヨロのひろみ
(長野市)

県民文化健康福祉委員会
決算特別委員会 (内定)
地方創生総合戦略研究会

くらしや福祉など広い分野を担当する委員会です。子どもの医療費の窓口無料、介護保険の負担軽減や施設整備など県民要望実現へがんばります。